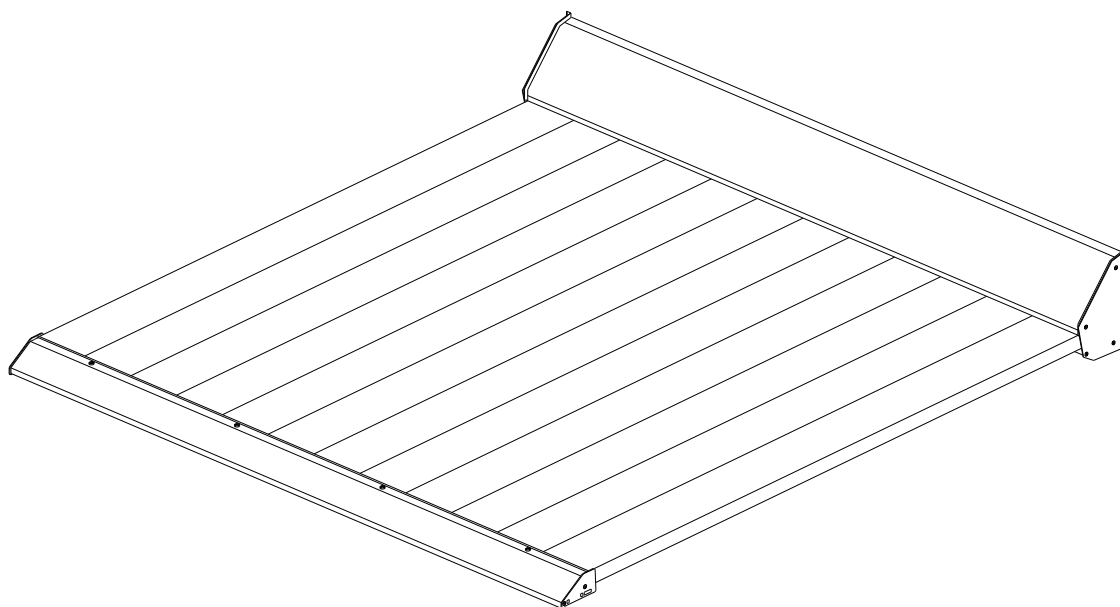


## アルミひさし アイラッシュ 取付説明書

前勾配ひさし スリムシリーズ アームレスタイプ (EVFNM601-1000)

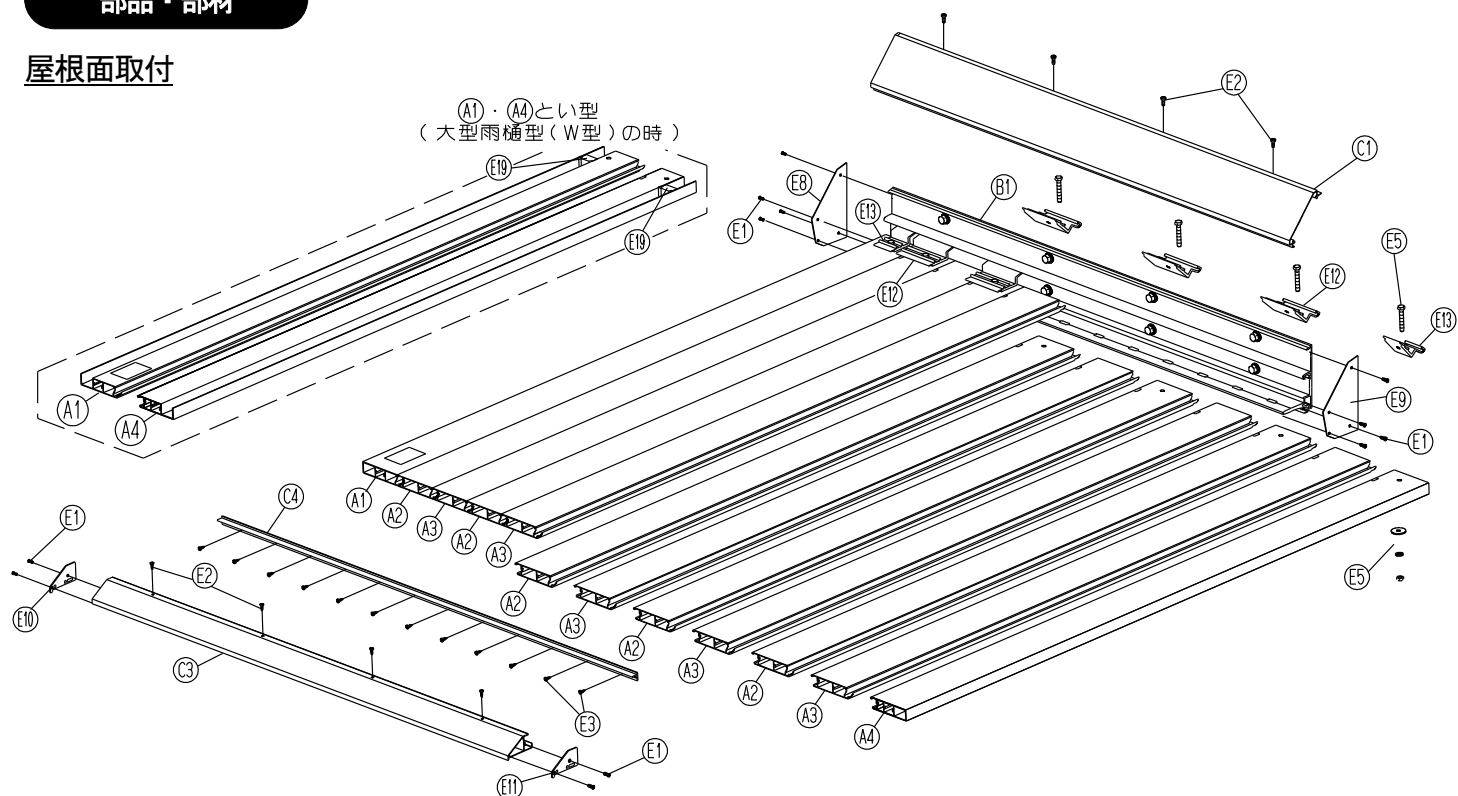


注 意

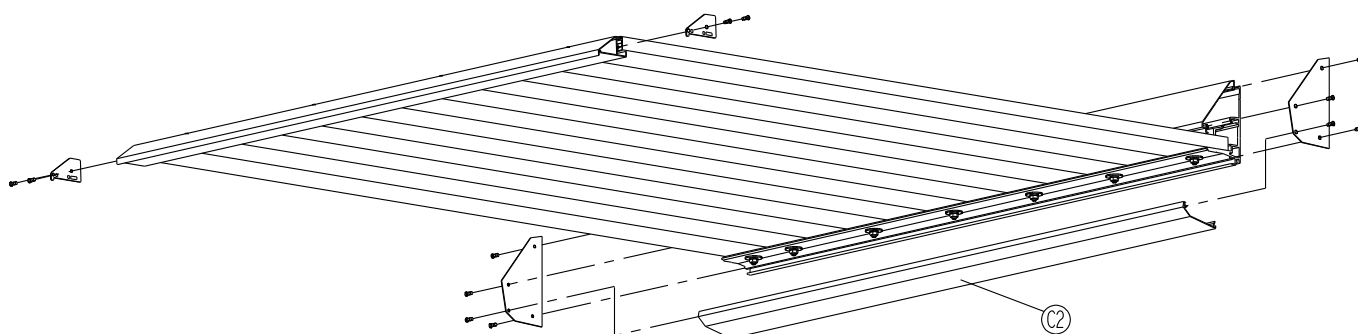
- 安全のため、付属部品以外での取付はやめてください。
- アンカー(オプション)にて確実に取り付けてください。
- 製品の小口は鋭利になっておりますので取扱に御注意ください。
- 製品寸法が長い場合は取り回しに御注意ください。
- 無理な体勢での施工は落下の原因となりますので御注意ください。

## 部品・部材

## 屋根面取付



## 天井面取付



## 梱包部品一覧

本体	A-1	A-2	A-3	A-4
	 庇本体(左) または(左-とい型)	 庇本体(中央部)	 庇本体 (中央部-穴ナシ)	 庇本体(右) または(右-とい型)

部材 1	B-1
	 ベースフレーム

部材 2	C-1	C-2	C-3	C-4
	 ベースカバー(上)	 ベースカバー(下)	 先端カバー (C, D, W タイプ)	 カバーフレーム

部品	E-1	E-2	E-3	E-5	E-8	E-9	E-10	E-11
	皿タッピンねじ (4×12)	なべドリルねじ (4×13)	バインドタッピン ねじ (4×16)	ボルトセット (M8×50)	ベースフレーム 小口フタ (左)	ベースフレーム 小口フタ (右)	先端カバー 小口フタ (左) (C, D, W タイプ)	先端カバー 小口フタ (右) (C, D, W タイプ)
	E-12	E-13	E-14	E-15	E-16	E-17	E-18	E-19
	ベースアングル (中央部)	ベースアングル (端部)	皿ドリルねじ (4×13)	※皿ドリルねじ (4×13) (落下防止ねじ)	※水密材 (L=50mm)	※先端カバー ジョイント (C, D, W タイプ)	※プチルテープ (C, W タイプのみ)	ふさぎ部品 (W タイプのみ)
	E-20	E-21						
※ベースカバー (上) ジョイント		※ベースカバー (下) ジョイント	取付説明書 (本紙)					

▲注意事項▲

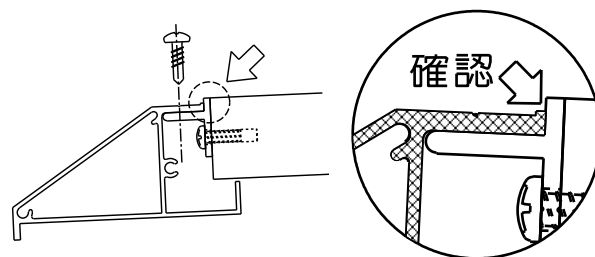
先端形状が大型雨樋型(Wタイプ)の場合、「底本体(左・右)」の形状がとい型となります。

## 先端カバージョイント仕様

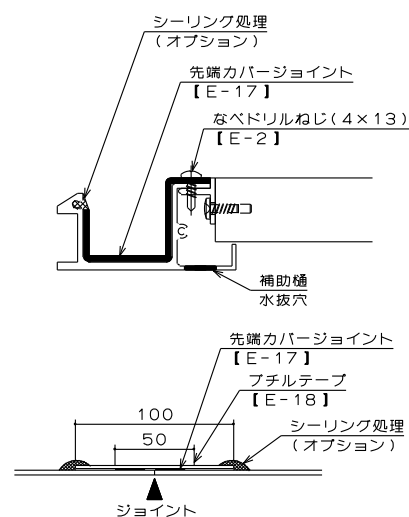
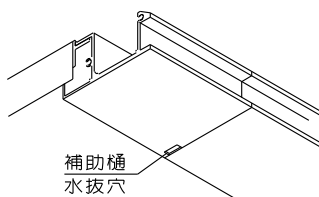
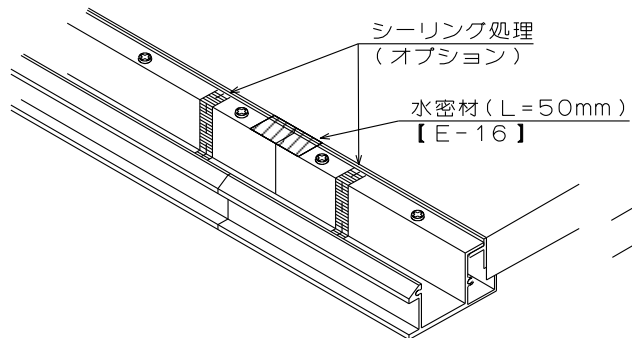
(W=4100 以上)

## ▲注意事項▲

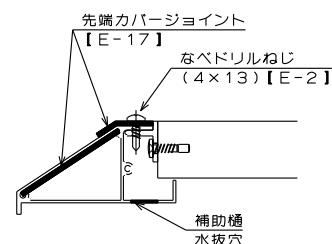
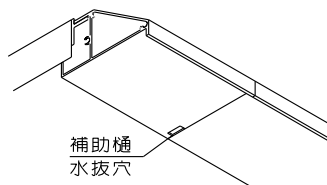
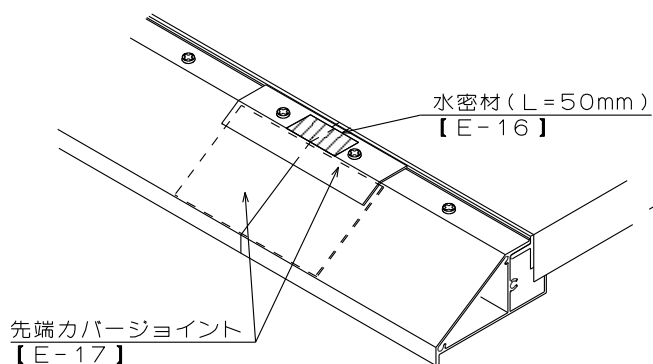
先端カバーがカバーフレームの側面に当たっていることを確認してから、取付を行ってください。



## ■チャンネル型 (Cタイプ)

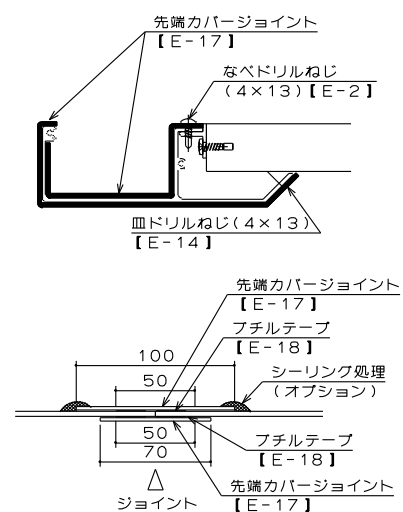
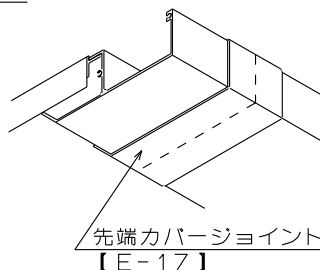
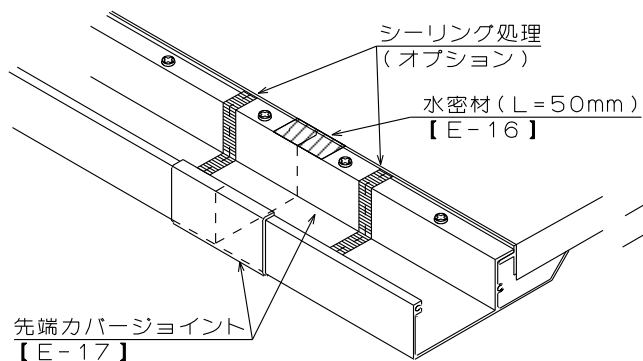


## ■三角型 (Dタイプ)

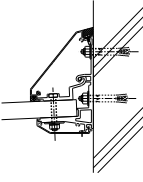
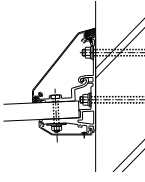
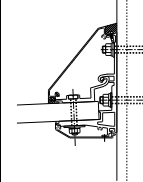
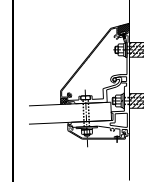
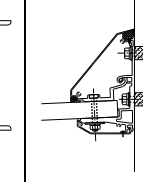


## ■大型雨樋型 (Wタイプ)

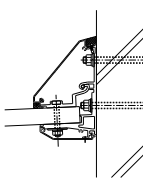
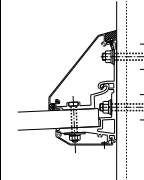
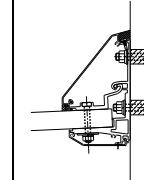
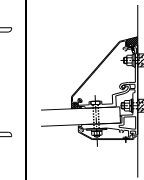
※出幅350mm以下



■ 標準仕様

記号	RC	ALC	押出成形セメント板	鉄骨	木造
EVFNM (アームレス) D:601 ~ D:1000					

■ オプション仕様 座板付ナット取付

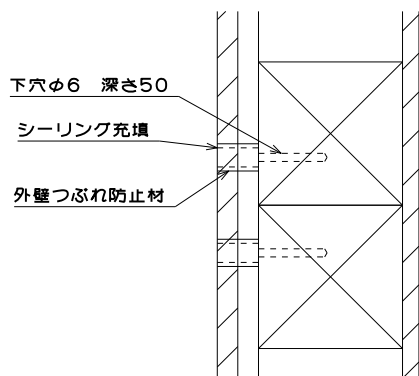
記号	ALC	押出成形セメント板	鉄骨	木造
EVFNM (アームレス) D:601 ~ D:1000				

コーチボルト取付方法

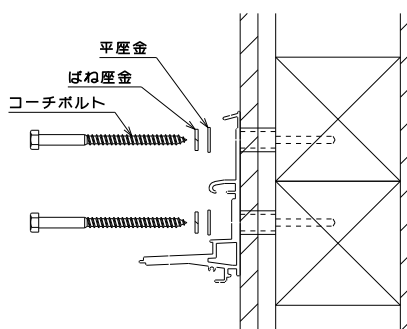
1. 取付用下穴をあけます。  
(下穴φ6mm、深さ50mm)  
下穴にシーリング材を充填してください。

▲注意▲

必ず充填してください。  
雨漏りの原因となります。



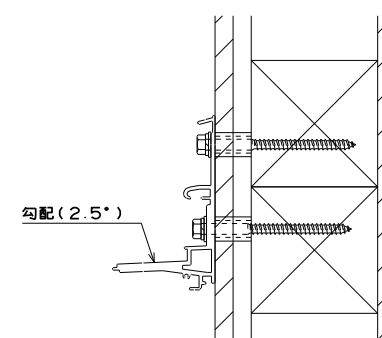
2. コーチボルト、ばね座金、平座金を取付してください。



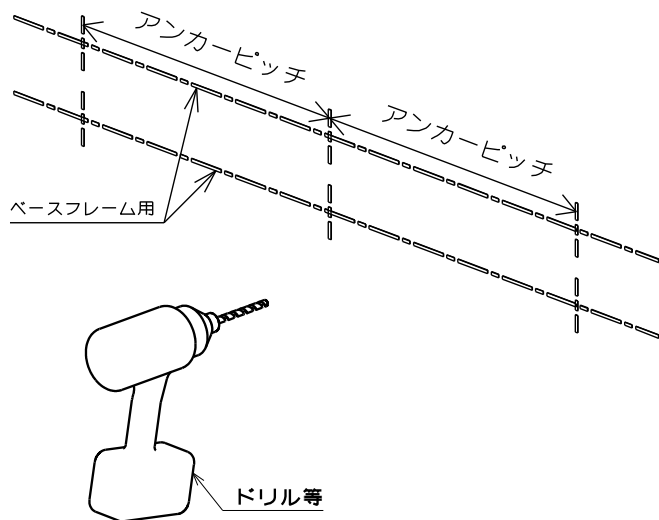
3. コーチボルト取付完了

▲注意▲

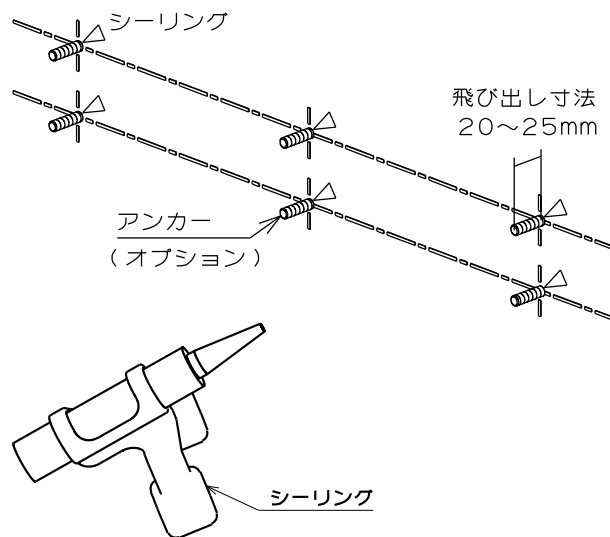
ベースフレームの勾配(2.5°)  
を必ず確認して下さい。



- ① ベースフレームの取付穴に合わせ、墨出しを行います。  
アンカーピッチについては別紙をご確認ください。



- ② 躯体にあったアンカー（オプション）を取り付けます。  
躯体とアンカーの隙間を必ずシーリングしてください。  
（飛び出し寸法：20～25mm）



- ③ ベースフレーム【B-1】を取り付けます。

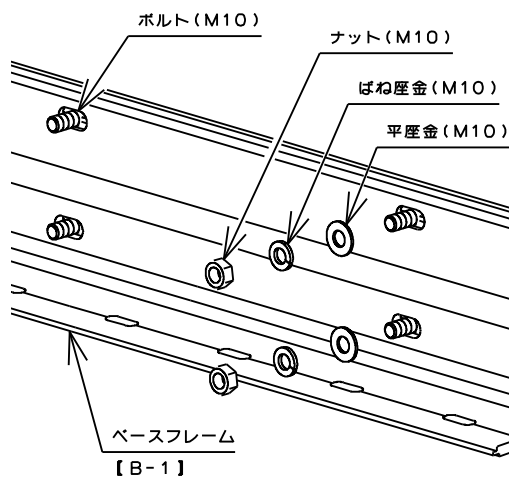
注 意

必ず水平器を使用し勾配を確認してください。水漏れの恐れがあります。  
アンカーの周囲は必ずシーリングを充てんしてください。

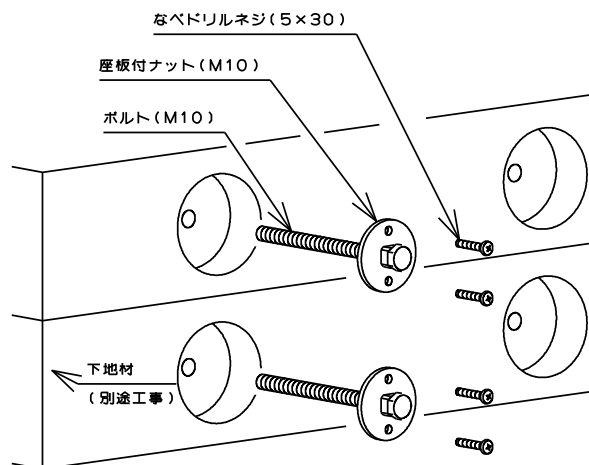
用意するもの

- ・ベースフレーム【B-1】
- ・アンカー（オプション）

貫通ボルト取付  
（外壁屋外側）



座板付ナット取付  
（外壁屋内側）



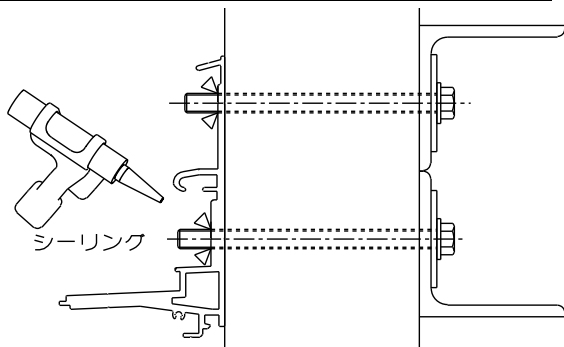
施工上のお願い

- ・ひさしの取付部分には必ず十分な強度を要する下地材の補強をしてください。また下地材は構造体から補強してください。
- ・壁面、補強下地の強度の確認をお願いいたします。
- ・躯体への漏水対策は必ず行ってください。また外壁のつぶれ防止対策は行ってください。
- ・ボルト・ナットのゆるみ止め対策は必ず行ってください。
- ・下穴には必ずシーリング材を充てんしてください。

## ▲注意事項▲

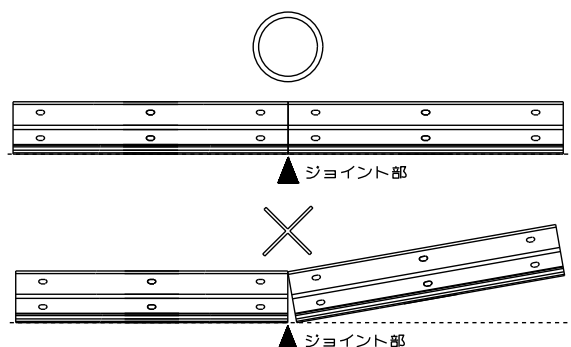
### ●アンカー取付部分のシーリングについて

**注 意** ボルト孔とベースフレームの丸穴部は必ずシーリングしてください。



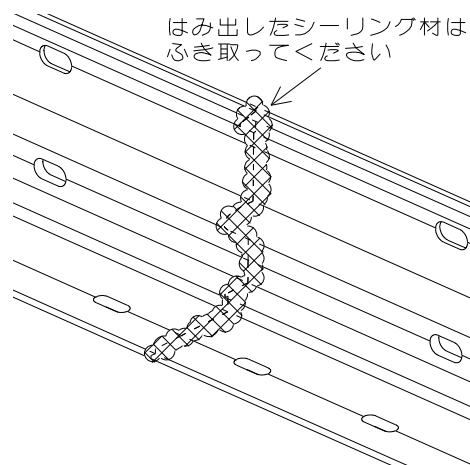
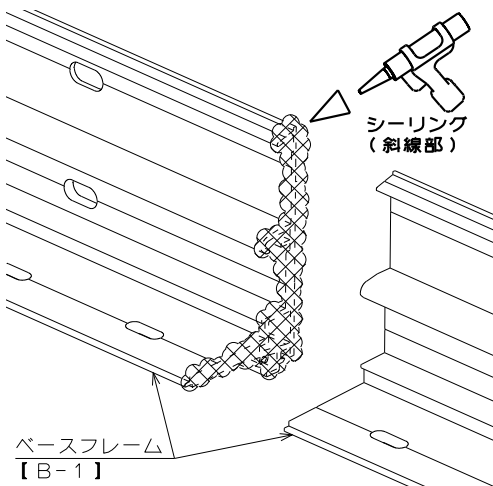
### ●ベースフレームの取付が2分割以上になる場合

ジョイント部が谷にならないようにしてください。  
必ず水平器を使用し、水平を確認してください。



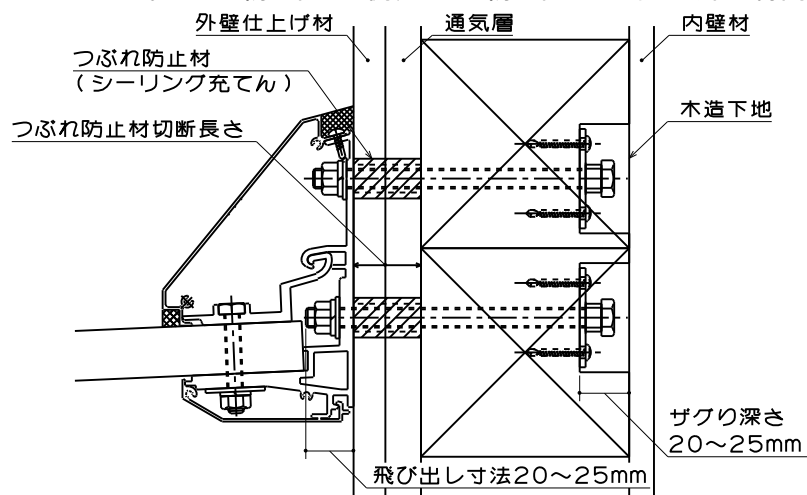
### ●ベースフレームの取付が2分割以上になる場合

**注 意** ジョイント部から水漏れする恐れがある為、突きつけ部分は必ずシーリングしてください。  
突き付け後、はみ出したシーリング材はふき取ってください。



### ●木造建築に取り付ける場合

木造建築にベースフレームを取り付ける時は、つぶれ防止材(オプション)を外壁仕上げ材から下地までの有効幅の長さに切断し使用してください。つぶれ防止材の内側、つぶれ防止材と外壁仕上げ材の隙間は必ずシーリングしてください。

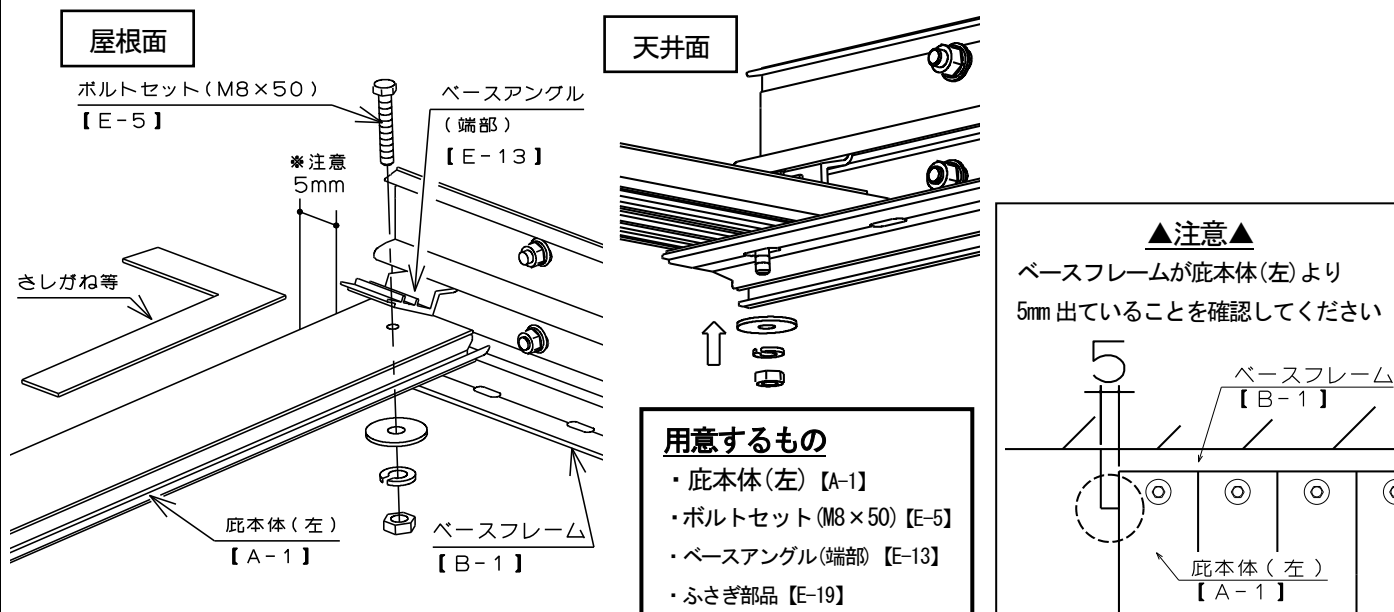


## ④ 底本体(左)【A-1】を取り付けます。

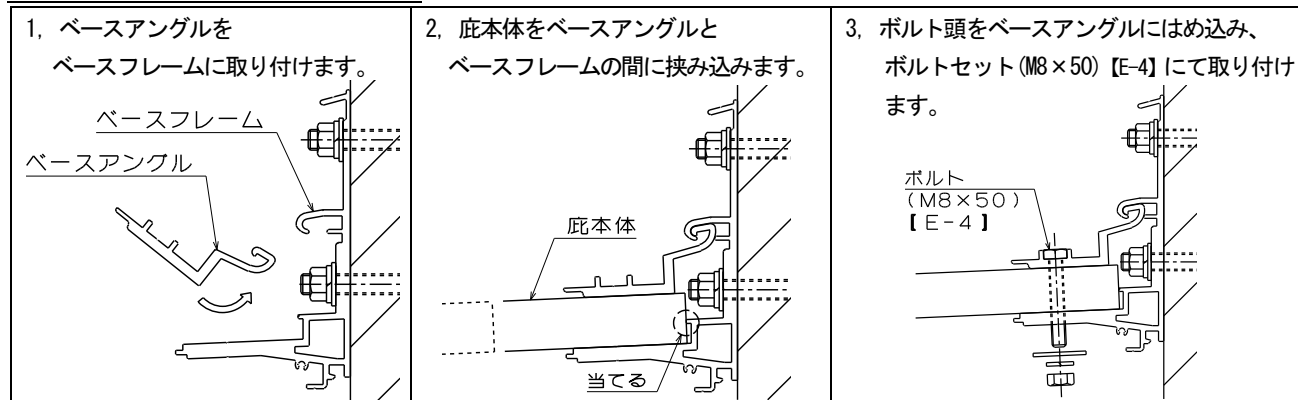
あらかじめベースアングル(端部)【E-13】をベースフレーム【B-1】に取り付けます。底本体(左)をベースフレーム側面に当てた後、ベースアングルで挟み込み、ボルトセット(M8×50)【E-5】にて取り付けます。この時、底本体(左)とベースフレームが直角になっていることを確認してください。

**注 意**

必ず底本体とベースフレームが直角になっていることをさしがね等を使い確認してください。  
底本体は線状模様が天井面になるように向きを確認してください。



## ●ベースアングルと底本体の取付方法

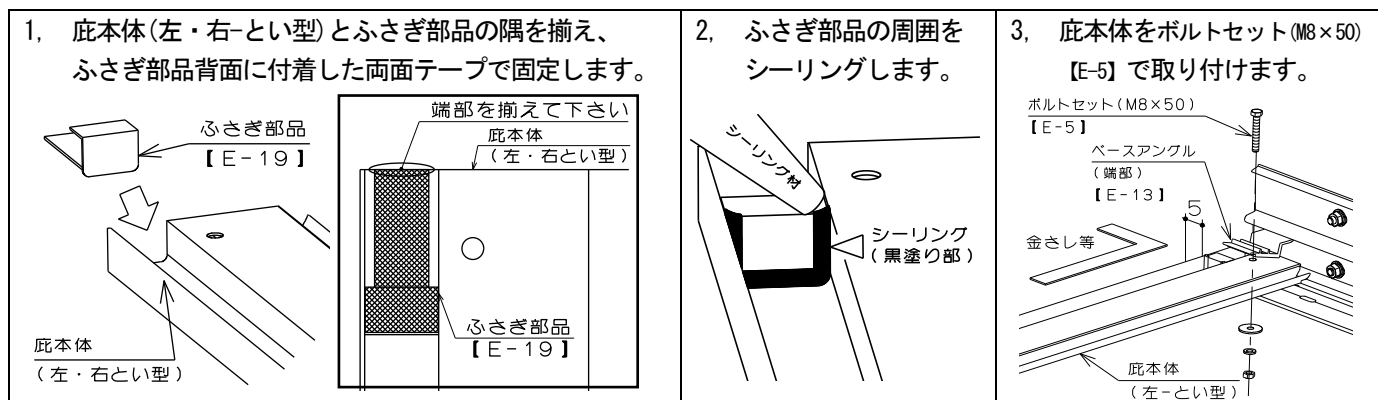


## ●先端形状が大型雨樋型の時の底本体の取付について

底本体(左・右-とい型)はふさぎ部品【E-19】を取り付けてからベースフレームに取り付けます。ふさぎ部品の周囲は必ずシーリングしてください。また、底本体とベースフレームが直角になっていることを確認して取付してください。

**注 意**

ふさぎ部品取付後、ふさぎ部品と底本体(左・右-とい型)の隙間部に必ずシーリングを充てんしてください。

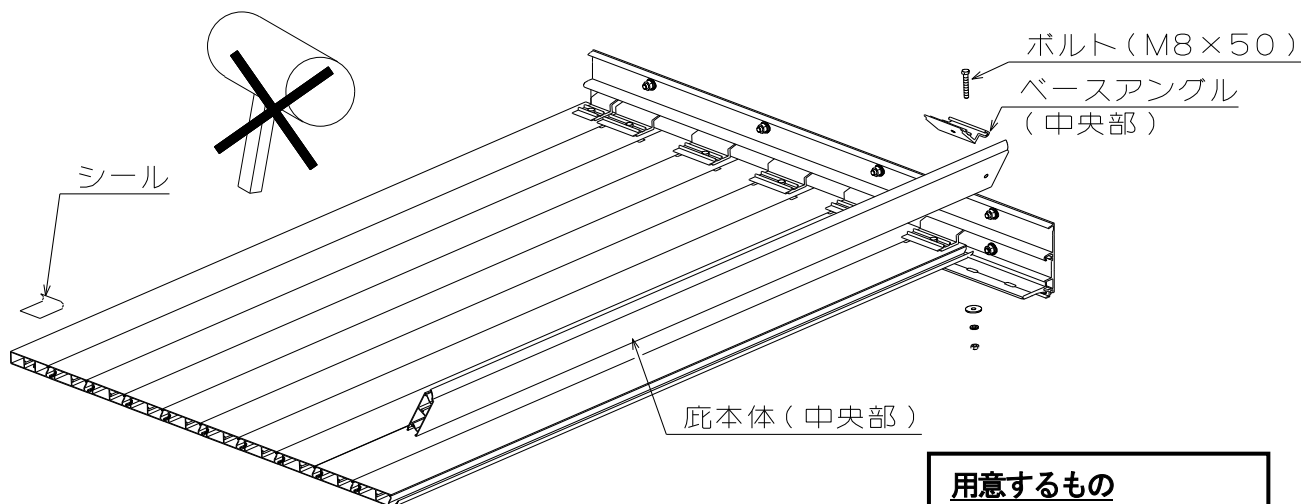


⑤ 庇本体(中央部)【A-2, A-3】・庇本体(右)【A-4】を取り付けます。

ベースフレームにベースアングルを取り付けた後、庇本体を番号順に取り付けます。庇本体はボルトセット(M8×50)【E-5】で取り付けます。取付時、庇本体とベースフレームが直角になっていることを確認してください。

**注 意** 庇本体には番号がついていますので番号順に取り付けてください。  
必ず庇本体とベースフレームが直角になるように10本に1回程度確認しながら取り付けてください。  
庇本体同士の目地が目立たないように、パネル同士を押しながら取り付けてください。

W寸法を確認後、シールは取り外してください。

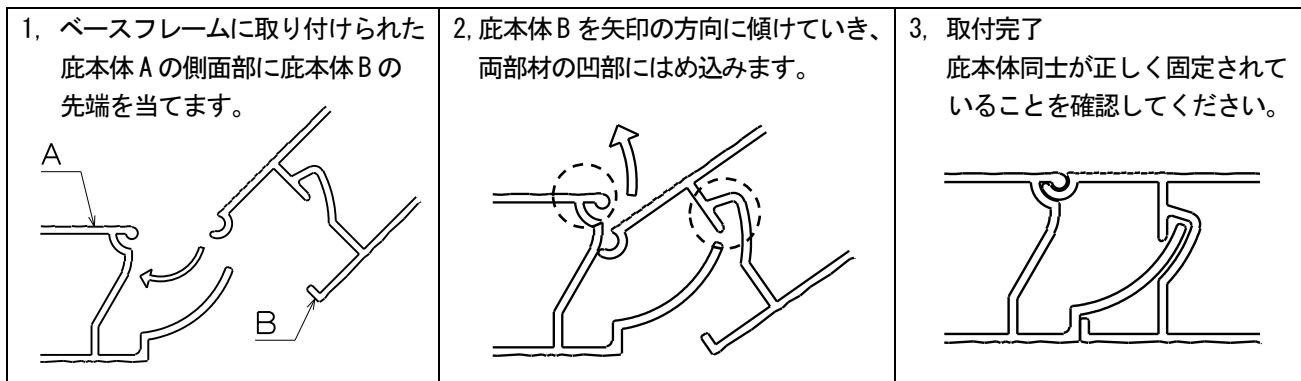


**用意するもの**

- ・庇本体(中央部)【A-2, A-3】
- ・庇本体(左)【A-4】
- ・ボルトセット(M8×50)【E-5】

**●庇本体の取付方法**

庇本体同士は回転しながら取り付けます。木槌やハンマー等は使用しないでください。



**▲注意▲**

庇本体の先端が隙間なく揃っていることを確認してください。先端が揃っていない場合、先端カバーの取付に支障がでる可能性があります。



庇本体  
庇本体  
庇本体  
庇本体



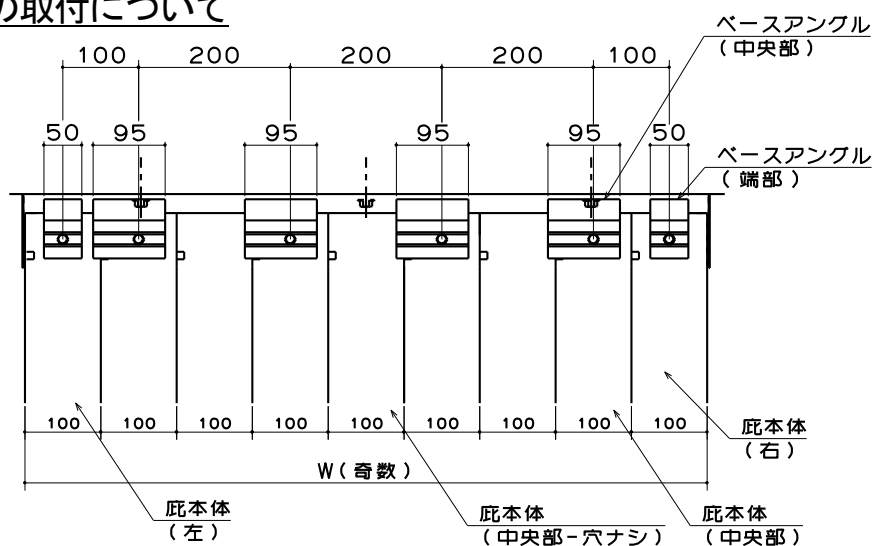
庇本体  
隙間  
庇本体



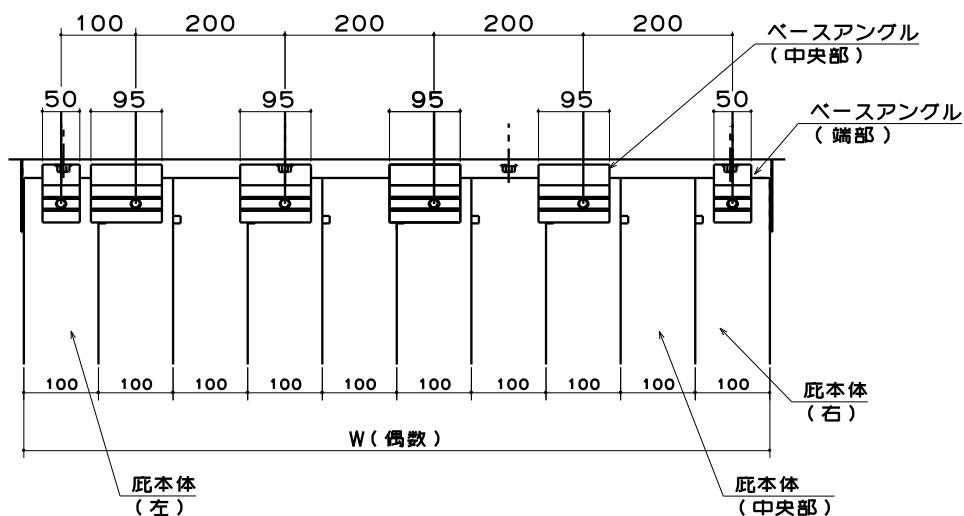
庇本体  
隙間  
庇本体

## ●W 寸法による底本体の取付について

W 寸法が奇数の場合



W 寸法が偶数の場合



## ▲注意事項▲

### ●W=10100 以上の底本体の取付について

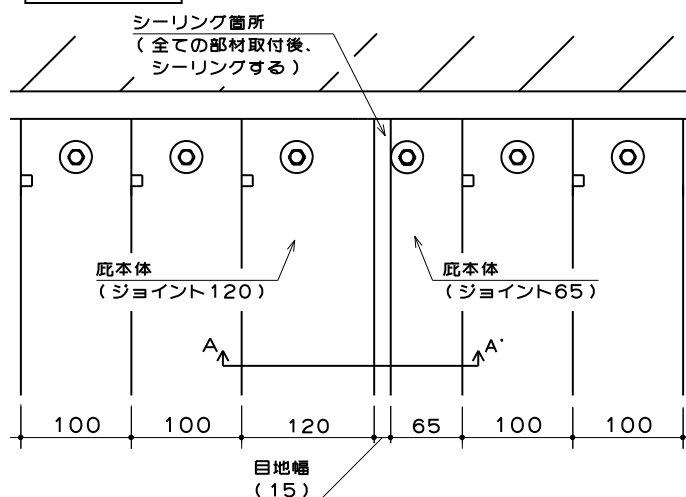
底本体ジョイント部で製品幅の寸法調整をおこなってください。

寸法調整後、底本体ジョイント部はバックアップ材等(別途)を使用しシーリングしてください。

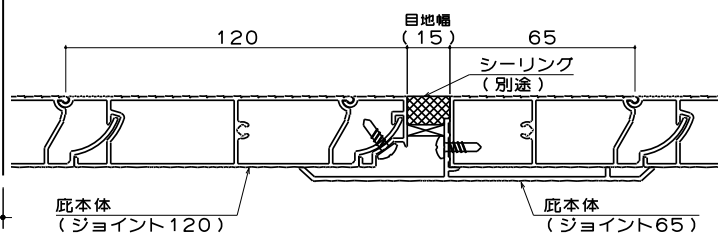
平面図

注意

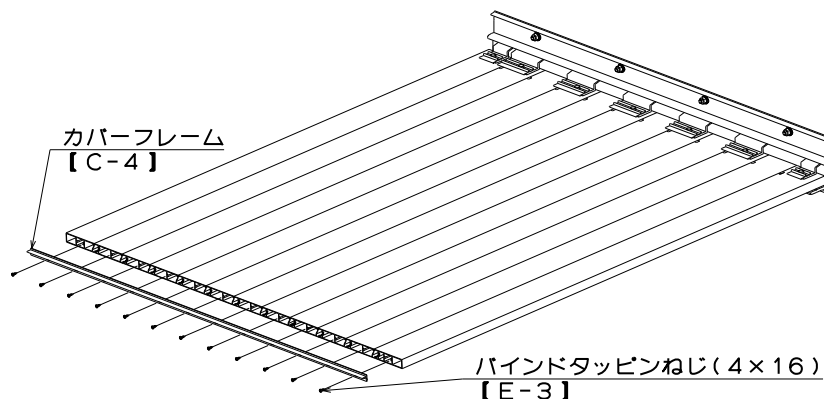
底本体ジョイント部は必ずシーリングしてください。



A-A' 断面図

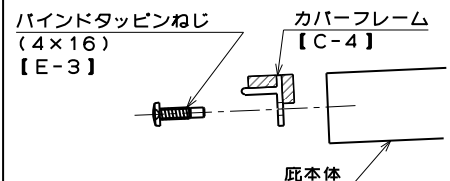


- ⑥ カバーフレーム【C-4】を取り付けます。  
バインドタッピンねじ(4×16)【E-3】にてビス止めします。

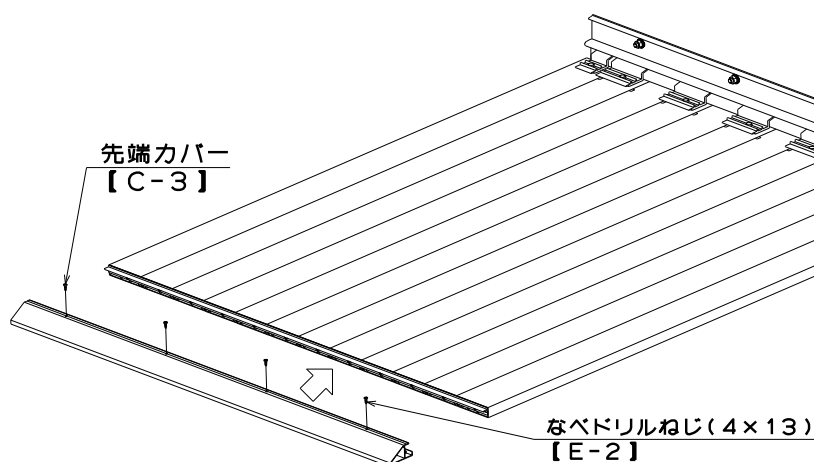


### 用意するもの

- ・カバーフレーム【C-4】
- ・バインドタッピンねじ  
(4×16)【E-3】



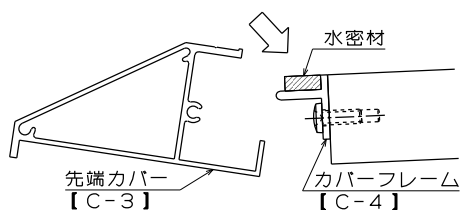
- ⑦ 先端カバー【C-3】を取り付けます。  
先端カバーをカバーフレーム上部の側面に当てた後、なべドリルねじ(4×13)【E-2】にてビス止めします。



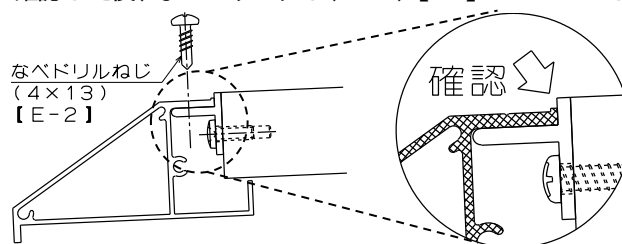
### 用意するもの

- ・先端カバー【C-3】
- ・なべドリルねじ(4×13)【E-2】
- ・水密材(L=50mm)【E-16】
- ・先端カバージョイント【E-17】

- 1, 先端カバー【C-3】はカバーフレーム【C-4】上部の水密材を潰すように当てます。



- 2, 先端カバーがカバーフレーム側面に当たっていることを確認した後、なべドリルねじ(4×13)【E-2】でビス止めします。

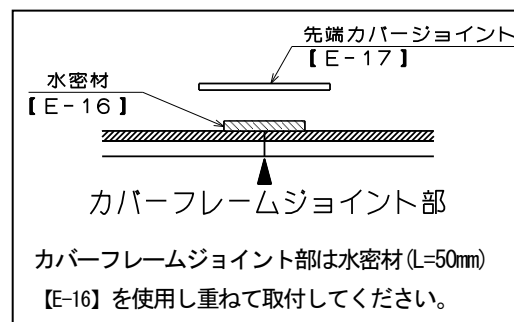
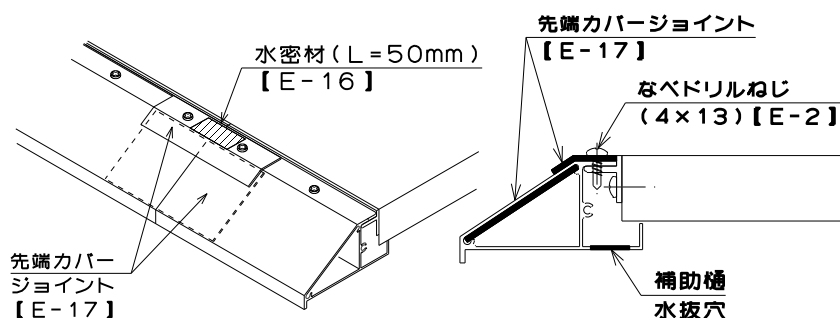


### ▲注意事項▲

W=4100 以上の時は先端カバーの種類に応じたジョイント材を使用し取り付けてください。

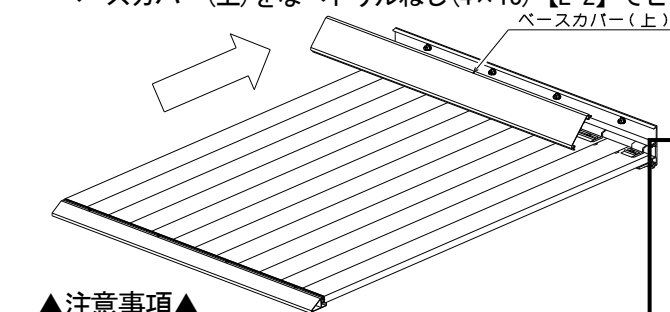
(別ページ 先端カバージョイント仕様参照)

〔下記は三角型(D型)の取付方法〕

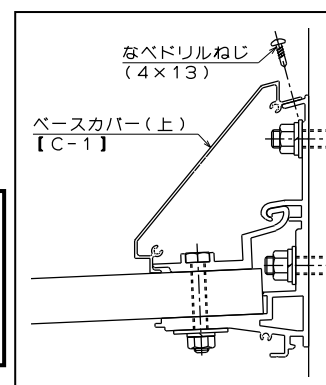


## ⑧ ベースカバー(上)【C-1】を取り付けます。

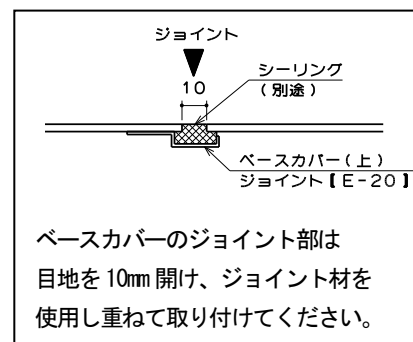
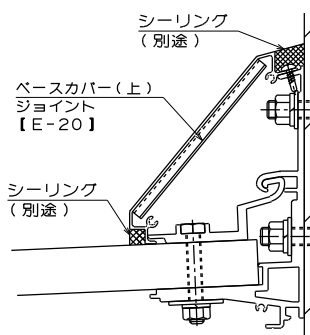
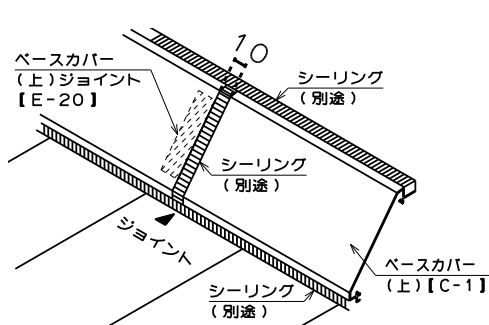
ベースカバー(上)をなべドリルねじ(4×13)【E-2】でビス止めします。(500 ピッチ程度)

**用意するもの**

- ・ベースカバー(上) 【C-1】
- ・なべドリルねじ(4×13)【E-2】
- ・ベースカバー(上)ジョイント【E-20】

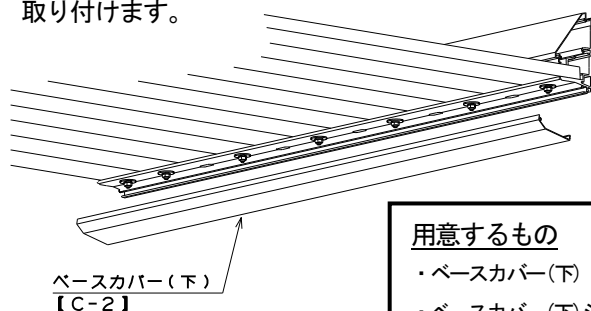
**▲注意事項▲**

W=4100 以上の時はジョイント材を使用し取り付けてください。

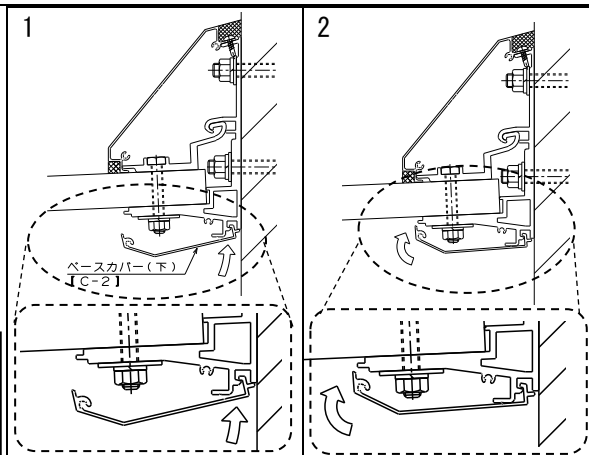


## ⑨ ベースカバー(下)【C-2】を取り付けます。

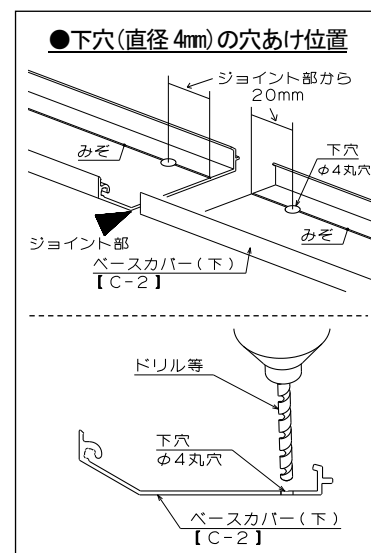
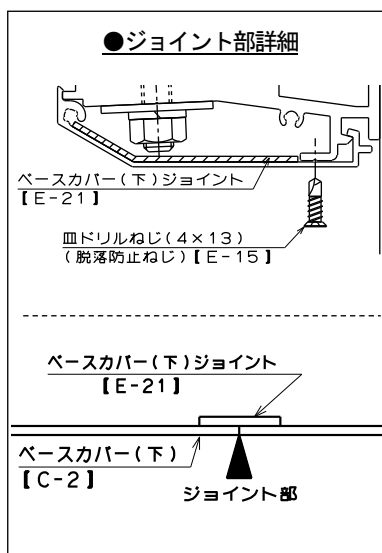
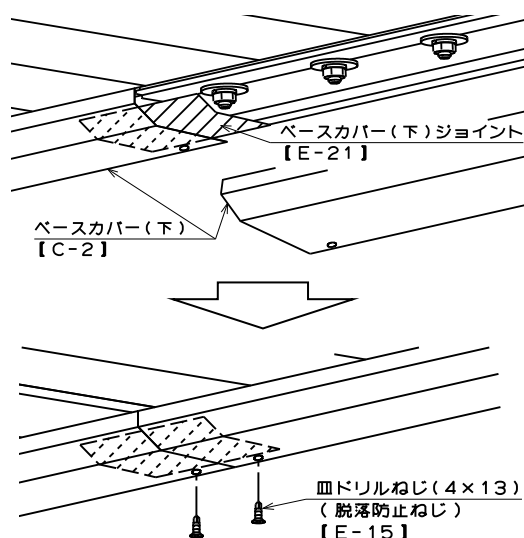
ベースフレーム【B-1】 躯体側にベースカバー(下)を引っ掛けてから、ベースフレーム手前側にベースカバー(下)をはめこみ取り付けます。

**用意するもの**

- ・ベースカバー(下)【C-2】
- ・ベースカバー(下)ジョイント【E-21】
- ・皿ドリルねじ(脱落防止ねじ)【E-15】

**▲注意事項▲**

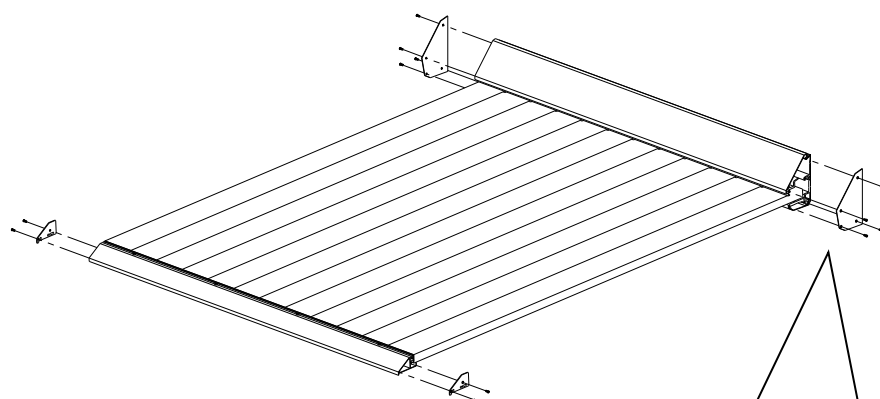
W=4100 以上の時は、ベースカバー(下)ジョイント【E-21】をベースカバー(下)【C-2】の内側にテープで圧着し固定してください。あらかじめ、みぞ上のジョイント部から20mmの位置に直径4mmの下穴を開け、皿ドリルねじ(4×13)(脱落防止ねじ)【E-15】でビス止めしてください。



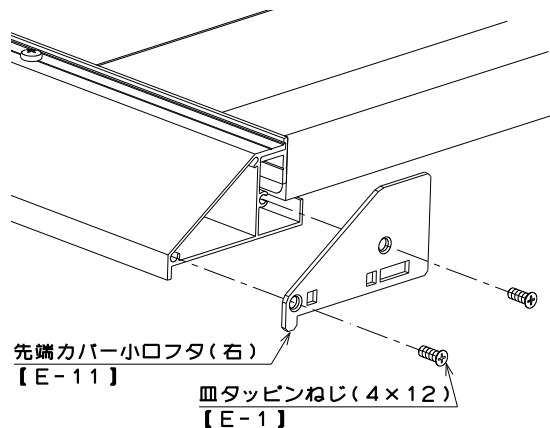
- ⑩ 小口フタを取り付けます。  
ベースフレーム小口フタ(左・右)【E-8・E-9】と先端カバー小口フタ(左・右)【E-10・E-11】を  
皿タッピンねじ(4×12)【E-1】でビス止めします。

#### 用意するもの

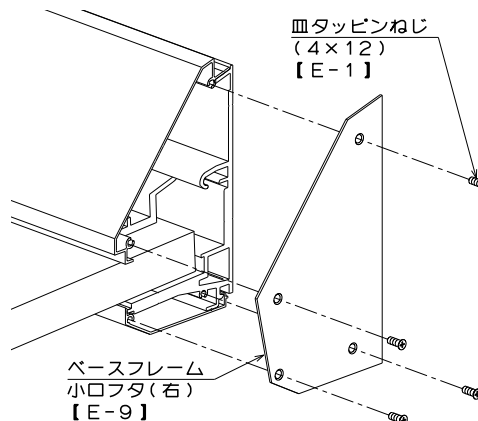
- ・ベースフレーム小口フタ(左)【E-8】
- ・ベースフレーム小口フタ(右)【E-9】
- ・先端カバー小口フタ(左)【E-10】
- ・先端カバー小口フタ(右)【E-11】
- ・皿タッピンねじ(4×12)【E-1】



#### 先端カバー小口フタ【E-10・E-11】取付



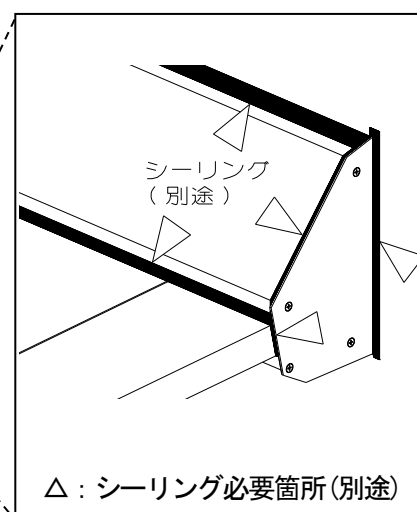
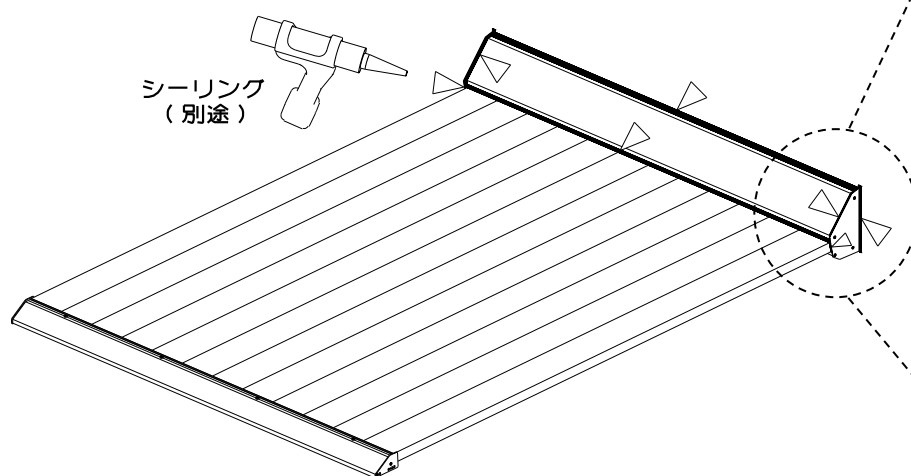
#### ベース材小口フタ【E-8・E-9】取付



- ⑪ 最後に底全体のシーリング(別途)をします。  
シーリングが乾いたら完成です。

#### 注 意

必ずシーリングを充てんしてください。  
雨漏りの原因となります。



理研軽金属工業株式会社